

小牧市中央図書館の建設工事が順調に進んでいます！

あと
4カ月半！

新図書館の
開館まで



令和3年3月末開館予定

現在、小牧駅西側に建設している小牧市中央図書館は、資料や最新機能の充実を図るなど、これまで以上に皆さんの情報要求に対応できる中央館として生まれ変わります。

館内は、市民の皆さんから要望の多かった居心地の良い空間の創出のため、多種多様な椅子を配置、Wi-Fi環境の整備、自動貸出機などICT機器・電子図書館の導入、カフェの導入など利用者ニーズや時代の要請に対応した図書館となるよう整備を進めています。

1階

エントランスエリア



開放感のあるエントランスには、雑誌や旅行・料理をはじめ生活に関わる図書・雑誌が並びます。

児童図書エリア



明るく開放感のあるこども専用フロアです。子どもの年代に合わせて約3万冊の図書が並びます。

カフェ



北側には、市民の方から要望が多くあったカフェスペース（スターバックスコーヒー）があります。

2階

ティーンズ向け 図書エリア



吹き抜け周囲に閲覧席を配置するほか、静かに学習できるサイレントルームもあります。

3階

一般図書、CD・DVD、 新聞、雑誌エリア



多彩なジャンルを取り揃え、サイレントルームや個人ブース、グループ室もあります。

4階

一般図書、参考図 書・郷土資料エリア



落ち着いた雰囲気フロアです。サイレントルームや研究個室、多目的室もあります。

吹き抜け



◀建物の中央にある吹き抜けは、下から見上げると、空間の広がりや光が織りなす天井模様の美しさに圧倒されます。4階上のハイサイドライトから漏れる明るい陽射しが降り注ぐ素敵な空間です。

▶工事着工から1年4カ月が経過した現在は、図書館の外壁・防水工事を終え、内装工事や屋外緑化工事を進めています。



工事現場の様子

現図書館本館の閉館について

問合先 図書館 (☎ 73 - 9951)

現・図書館本館
12月30日閉館

現図書館本館（以下「本館」）は、昭和52年に建築され、昭和53年1月に開館してから、長きにわたり、多くの市民の皆さんに愛され、ご利用していただいています。現在、小牧駅西で令和3年3月の開館に向け、着々と建設工事が進む「小牧市中央図書館」に機能移転するため、その役割を終え、令和2年12月30日をもって閉館する運びとなりました。



本館は、「象設計集団」の設計による奇抜で意匠をこらした外観で、当時の建築雑誌でも紹介され、話題

となりました。

平成12年

に発行した当館の『30年のあゆみ』

によると、当初より

「子どもの本講座」や

「昆虫・植物・鉱物教室」、写真展など各種の展示会、「小牧山と尾張徳川家」といった郷土史や文化財の講演会など、実に多種多様な事業を行っており、地域の生涯学習施設として機能してきました。また、おはなし会のボランティア団体も誕生し、活動を始めました。

移動図書館「あおぞら号」は平成17年3月に運行を廃止しましたが、この間に各市民センターに図書室が順次整備されました。平成20年には、駅前のラピオビル内に「えほん図書館」がオープンし、子ども読書活動や子育て支援の面でもサービスの進展が図られています。

個人貸出冊数は、昭和53年の開館当初で年間約21万冊程度でした。昭和62年に約49万冊でピークを迎えると、その後は徐々に減少していき、令和元年度の本館の年間個人貸出冊数は約24万冊となりました。

近年のインターネットの普及、活



▲おはなし会の様子

字離れの傾向なども影響し、これまでの図書などの貸出しを中心とした機能から、人々が集い、交流する場としての機能が重視されるようになりました。

建設から40年以上が経過し、老朽化が進み、バリアフリーの困難、収蔵スペースや学習スペースの不足などの課題を解決するために、平成19年度から、新図書館の建設計画に取り組んでまいりました。

新たな「小牧市中央図書館」の開館に伴い、本館は、これまで多くの市民の皆さんに愛されてきた、たくさんの方の思い出とともに、その歴史に幕を下ろします。



取壊しについて

小牧市中央図書館開館後の本館の建物については、平成30年から主に教職員への研修機能を担う「教育センター」などへ活用する案の検討

を行いました。次の理由から、利活用は難しいとの結論に至りました。

そして、利活用しない状況のまま長期間施設を存続させることは、周辺環境への悪影響が懸念されることから、非常に残念ですが、取壊しを行うこととしました。

【解体理由】

① 改修費用が高額であること

建物の老朽化に伴う修繕工事費と利活用のための改修工事費を合わせると5億円程度の費用がかかると想定。

② 転用しづらい建物であること

図書館という用途に特化した構造。内部の部屋が整形でない。

③ バリアフリー化の問題があること

階段や段差が多く、現実的にバリアフリー化が困難。

④ 耐震改修が望まれる建物であること

過去の耐震診断の結果、耐震補強工事が望まれている。

※本館は引越し準備のため、サービスを一部変更します。期間や内容など詳しくは次号および図書館ホームページ等でお知らせします。